

つた県外研修『北海道』

親元を離れ、北海道の大自然の中、友達との生活体験や活動体験を通して豊かな人間性を育むことを目的とした、町教育委員会主催の児童・生徒県外研修が、8月1日から3日までの2泊3日の日程で行われました。

この研修で、子どもたちが経験した、大自然の中での貴重な体験や楽しかった思い出などを、子どもたちの作文で紹介します。

北海道の体験学習

上塚小学校 6年
早川恵利子



私たちは、8月1日から2泊3日の県外学習で北海道に行きました。

初めて乗った飛行機は、離陸と着陸のときの大きな音と機体がガタガタゆれてびっくりしました。富士山が黒く窓の下にくっきり見えました。ごちゃごちゃした街並みがテレビの画面を見ているようでした。

釧路空港からバスで厚岸町に向かう景色は、緑いっぱいでした。とても長いコンブを砂利の上に大勢の人で干していました。

草原には、乳牛がのんびりと草を食べている姿があちこちに見られました。

鶴公園では、辺りの緑に鶴の白い羽がとてもめだつてきれいでした。絶滅寸前のタンチョウヅルがみんなの力で保護されていることを知りました。

大自然の広がる川でカナノの体験をしました。友達と気持ち合わせて、前に進むようにがんばっていると、とてもすずしい風がふいてきました。川の水が冷たくて疲れがとれました。

この体験学習で、知らない人と友達になれたし、千葉県とは違った景色を見たり飛行機に乗ったのもよい経験になりました。いろいろな経験をしたこと、夏休みの楽しい思い出になりました。

お世話して下さいましたみなさん、ありがとうございました。

北海道の大自然

横芝中学校 1年
若梅泰之



僕は、県外研修で北海道厚岸町に行ってきました。

北海道は大自然に囲まれて、空気がきれいでもっとも過ごしやすかったです。今年の北海道はいつもの夏より暑いようで、千葉との気温差はあまり感じられませんでした。

酪農ふれあい体験ではアイスクリーム作りに挑戦。思ったより簡単でしたが、すぐ溶けてしまったのでもう少し時間をかけ

て作ればよかったです。体育館ではボール投げや卓球・オセロなどをしながらいろいろな人と友達になることができました。最初の夜は消灯時間が過ぎて興奮してなかなか眠れなかったので、2日目の朝は少しボーッとしていました。

北海道名物「鮭のチャンチャン焼き」は、鮭と野菜のミックスに味噌をつけて焼きました。火をおこすのにすぐ時間がかかって大変でしたが、みんなで協力して作ったのでとてもおいしかったです。

一番楽しみにしていた七宝焼きでは、ガラスの粒が熱によって色が変わっていく様子を見て感動しました。

この3日間すごく楽しくて、また行きたいと思いました。

